

電制コムテック広報紙

とらい

令和7年 年始号

発行  
電制コムテック株式会社  
広報室〒067-0051  
江別市工業町8番地の13  
TEL(011)380-2101  
FAX(011)380-2103  
<https://www.dencom.co.jp>謹  
賀  
年

# DENCOM

## 年頭のご挨拶

代表取締役 田上 寛



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素は格別のご高配を受け賜り、有難くお礼申し上げます。

昨年は年明け早々に石川・能登半島地震、航空機事故と、災害と事故が立て続けに起こり、悲痛な幕開けとなりましたが、明るい話題も沢山ありました。夏開催のパリオリンピックでは、日本人選手が大活躍し、メダル獲得数が海外開催で過去最多としました。更に最大の話は、世界中の人に衝撃と感動を与えたメジャーリーガー大谷選手の活躍です。彼はリハビリ中にも拘らず本塁打数と盗塁数で前人未達の50-50をあっさりと、そして単なる通過点の如く成し遂げてしまいました。驚き

です。これこそ日本人の可能性の大きさを垣間見る快挙に他ならず、自分を信じ、貪欲に努力し続ければ他人には不可能に思えることも可能に出来るということを私達と同じ時代を生きる一人の青年がアメリカで鮮やかに証明してくれました。

終戦後の日本は、貧困経済から脱するために欧米先進国の豊かさに憧れるのをやめ、追いつけ追い越せる「経済大国日本」にのし上がり、「技術立国日本」とも云われる様になったにも拘らず、バブル崩壊で経済も技術も各国に追い抜かれ、今の日本人は誇りも自信も失ったかの様です。

しかし今、「諦めるな、日本！世界のトップを目指せ！」の気概を大谷選手が遠いアメリカから日本に届けてくれた気がします。

政治にも大きな動きがありました。昨年暮れに日本では衆議院選と首相指名が行われ、石破新政権が誕生し、そしてアメリカではドナルド・トランプ氏が4年振りにアメリカ大

統領に選出され、再びトランプ政権が動き出すことになりました。この二人のリーダー交代によって、今後の日本経済・外交・安全保障には、どう影響しどう変化していくのでしょうか。衆院選での惨敗で少数与党となった石破政権は、十分な経済政策を打ち出せるのでしょうか。またトランプ大統領がアメリカ第一主義を掲げ、選挙中には日本も含めての関税引き上げに言及したことや日本への防衛費負担増要求再燃の可能性など、問題山積の政権運営となりますが、石破政権の舵取りに期待したいと思います。

ここからは新たな年を迎えた社員の皆さんにお話します。

会社におけるリーダー（管理監督者）に焦点を当てて、私が考えるリーダー像としての「野心と調整力」について少しお話します。

野心と云うと「身分不相応なよくない望み」という悪いイメージもありますが、ここでの意味合いは「大きな志達成に執念を燃やす熱意」です。野心あるリーダーが組織を率い

た場合の話をしませんが、この様なリーダーは本質的に達成意欲が強く、与えられた目標の達成のために勢いを持って組織牽引します。この際にリーダーが心得ておかなければならないことは「組織とはそもそも同床異夢の集合体」ということで、組織を団結させるためには「調整力」というリーダー資質は必須です。調整力を発揮できないまま強引に組織牽引すれば反発が起こり組織力は失われます。従って、リーダーは「野心」と云える程の高い志を持つ人になるとともに、組織を上手に纏める「調整力」も兼ね備える必要があります。「野心と調整力」については以上ですが、これからリーダーを目指す皆さんに伝えたかったことです。

最後になりますが、本年も社員一同で新たな技術に挑戦し、多くの皆様に沢山の感動を与えることが出来るよう尚一層の努力をしまいにあります。皆様には今年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 新設! 弁天変電所

本工事は、苫小牧東部地域の供給対策として、弁天変電所を新設し電力の安定供給を図る工事です。同変電所は、2024 年 11 月に無事運転開始となり、2025 年 1 月に竣工を迎えます。

弊社は本工事において、制御機能付遠方監視制御装置（N 形テレコン）、デジタル形自動受電切替装置（N 形自動受電切替装置）、6kV デジタルリレー配電盤（N 形配電盤）、バンク逆潮流保護盤を北海道電力ネットワーク株式会社様より受注し、納入させていただきました。

また、本工事の元請けである株式会社 北弘電社様より請負工事のうち試験業務を頂き、ケーブル設計か



配電盤室の様子

らシステム系統図ならびに各種試験表の作成、さらに運用開始までの各種試験を担当いたしました。

今回納入した設備が性能・機能を十分に発揮し、電力の安定供給に貢献できる事を期待しております。

最後に設備納入や試験業務実施にあたり、ご指導ご協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

## AI カメラを活用 シリンダー計測 フィールド評価スタート —無線・有線によるデータ伝送機能で効率化を実現

弊社開発の AI カメラを用いたフィールド評価が、道内の産業現場で開始されます。この AI カメラは、シリンダーの目盛りを高精度に撮像し、その画像データを AI 技術で解析。数値データへと自動的に変換することが可能です。

さらに、この AI カメラには、無線または有線の通信機能が搭載されており、計測結果をリアルタイムで遠隔地のデータセンターや管理シス



弊社開発の評価用 AI カメラ

テムへ送信することができます。これにより、作業者は現場にいなくても計測データを確認・分析でき、さらなる作業効率の向上が期待されます。このシステムは、従来の手動計測と比べて効率を大幅に向上させ、人的ミスの削減と迅速なデータ提供を実現します。フィールド評価は、現在、製造業やエネルギー業界での展開を視野に、厳しい環境下でもその性能が発揮できることを検証する予定です。この技術により、現場での作業負担が軽減されるだけでなく、リモート操作による管理体制の強化が可能になり、今後は、さらなる性能改善や幅広い業界での導入を目指してまいります。

## 音声認識システムを活用 アプリ開発

世界的に AI が活用されている中で、以前より当社では AI 技術を利用した画像認識の取り組みをご紹介しておりますが、ここではインターネットに接続しないオフライン環境で AI 技術を利用した音声認識システムによるアプリ開発をご紹介いたします。

本アプリは、音声認識ソフトを活用し認識した音声をもとに、データベース内に登録したキーワードを検索し、認識結果に対応した音声や画像を出力するものです。

昨年のビジネス EXPO では、来場者がマイクに向かって当社商品名を話すと、賑やかな会場内であって

もリアルタイムに情報伝達し、該当画像をモニターに表示しながら音声で特長を解説するデモを展示しました。発音や活舌、話し方は、個人差があるため一つの商品名につき数十種類の誤認識サンプルを社内で採択し登録することで正しい音声認識で結果が出力され好評を得ました。

また、本アプリは音声認識精度が高いことからキーワード検索だけでなく、数値の音声入力をデジタルデータに変換しそのまま演算することも可能ですので、今後は当社事業を始め広い分野で各種システムに適用できるよう引き続き AI 技術の取り組みを進めてまいります。

## 二つの水系全体の安全を守る 水力発電所納入システム

北海道日高地方は、日高山脈を水源とする数多くの河川が太平洋に流れ込む雄大な自然が広がる土地であり、上流から流れ出る豊かな水源は、水力発電においても重要な役目を担い、北海道の半分近くに及ぶ発電出力を誇る一大電源地帯となっています。

弊社は事業の柱の一つとして、水力発電に関わるダム管理システムや下流警報システム、保守支援システムなどの製品群を数多く納入しております。

直近では二つの水系全体に関わるシステムがあり一つは 2024 年 3 月に静内川水系最下流に位置する双川発電所下流警報システムを無事竣工。もう一つは 2025 年 2 月の竣工に向け、新冠川水系最下流に位置する岩清水発電所の下流警報システムの工事が現在進行中です。

これら下流警報システムは、ダムや堰、発電所からの放水で水位が上昇し勢いを増した河川による事故を

未然に防ぐため、河川周囲や付近にいる釣り人などに向け、放流前にサイレンやスピーカの音声によりお知らせし、退避いただくことで安全を確保する装置です。

また、下流警報システムは、ダム管理システムあるいは発電機制御装置類とも情報連携しており、下流警報システムによる事前の吹鳴なくしてダムゲートを開操作できないようにロック機構を備えている他、発電機の起動や発電出力変更といった制御が行われないようにするなど、水力発電に関わる各システムが一体となり河川の安全を守るよう動作しています。

弊社はこれからも水力発電に関わる下流域への安全と公衆災害防止に貢献するシステムを設計・製作し、納入後の保守体制も万全に整え、安全かつ安心してご利用いただける、より良い製品をご提案、ご提供できるよう努めてまいります。

## 新製品開発

### 脊柱側弯症検査に用いる角度計 スコリオデバイス

2024 年、弊社は脊柱側弯症の検査を支援する角度計「スコリオデバイス」を旭川医科大学と共同開発し、2025 年より本格的に販売いたします。

脊柱側弯症は、脊柱が左右に曲がる状態のことで思春期に発症するケースが多く早期発見が重要です。

現在、側弯症検査は学校保健安全法に基づき学校健診の中で実施されていますが、視触診では腰背部の傾斜角度を客観的に数値で確認できないため、症状が軽い場合には判断が難しいことや検査時に脱衣が必要等の課題もあります。

一般社団法人日本側弯症学会が昨年 6 月に発行した「学校健康診断における側弯症に関する見解」の中でも検査の重要性が示されており、検査の充実が望まれる一方で検査時の脱衣やプライバシー確保も大きな課題となっています。

今回開発したスコリオデバイスは、軽くなぞるだけで腰背部の傾斜角度を計測できるため側弯症の疑いを評価しやすく、着衣のまま測定可能なためプライバシーを守ることができ、着替えのための特別な会場設営も不要です。



スコリオデバイス

また、従来は健診時間が、一人当たり数分程であったものが、5～10 秒の短時間で計測でき、専門知識がなくても誰でも簡単に操作できます。

さらに、導入し易い低価格を実現したことも特徴です。

昨年、福岡県で開催された第 58 回日本側弯症学会に、新しい側弯症検査用角度計として本機器を出展し医療関係者等の皆様からも高評価をいただきました。

弊社はスコリオデバイスで、子どもたちの健康を守る環境づくりのお役に立てるよう努めてまいります。

## 編集後記

新春の明るくさわやかな雰囲気と弊社社員の意気込みを本紙から感じていただけますとうれしいです。（編集担当）